

講義名	心理学演習（体験型コミュニケーション）		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	中川 典子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限	授業形態	
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2019年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**

SNSの普及は利便性ととも、以前には見られなかった新しい形式で人と人とを繋ぐツールを私たちの日常生活にもたらした。他方、SNSの隆盛により、直接他者と対面してコミュニケーションをとりながら人間関係を構築することに苦手意識をもつ若い世代を生み出してきたことも否めない。本コースでは、「ラボラトリー方式」による体験学習を通じてグループメンバーとの対面によるコミュニケーションを実践する。具体的にはグループワークを実践し、そのプロセスを振り返り、良好な人間関係を築くために必要な知識と態度、そしてスキルを習得する。

**到達目標**

本コースでは以下の能力を養うことを目標とする。

- (1) 自分のこれまでの他者との関わり方を見直すことができる。
- (2) どのようにして良好な人間関係をつくるのかについて、真剣に考えることができる。
- (3) 自分自身を見つめ直す方法を探ることができる。
- (4) 多様な視点で物事を見ることができるようになる。
- (5) 他者と協働することの意味や意義を考え、実践できるようになる。
- (6) リーダーシップやコミュニケーションのあり様がグループダイナミクスに与える影響について理解できる。
- (7) 上記を踏まえて、実生活で他者と協働し、共存するためのコミュニケーション力を養う。

**提出課題**

第1回目の授業で、ワークシートの冊子を配布するが、ここでは、毎回の授業活動に対する振り返りとグループ活動における自身のコミュニケーションに関して執筆し、提出する。その他、前もって翌週のグループ活動で実施する課題に取り組み、当該授業で提出することがある。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

毎回、授業後に振り返りシートの執筆を課す。翌週の授業の最初に匿名で数人の振り返りシートの内容を教員が紹介、コメントし、クラス内で共有する。

**評価の基準**

- (1) 課題 (60%)
- (2) 最終レポート試験 (30%)
- (3) 授業態度 (10%)

**履修にあたっての注意・助言他**

- (1) コースの評価は、上記の成績評価基準すべての項目を総合して行うが、(1) (2)のうち一つでも不参加の項目がある場合は不合格となり、単位は与えられない。
- (2) 講師が入室したときに教室にいない場合は遅刻者として見なす。交通機関の遅延など、特別な理由がない限り遅刻厳禁。
- (3) 規定の時間以上の遅刻は欠席となる。また、規定回数以上の欠席の場合、単位は取得できないので、各自、自分の状況を把握しておくこと。詳細は第1回目のガイダンスで説明。

\*第1回目の授業は授業内容やコース内で遵守すべきルールに関するガイダンス、その他、履修にあたっての重要な注意事項を伝えるため、必ず出席すること。

<b>教科書</b>
.使用しない。

**プリント資料及び参考文献**

第1回目の授業で、毎回の授業で使用するワークシートの冊子を配布する。また、その他の教材は、授業内で適宜、配布する。

**授業計画**

回 授業内容

1. コースガイダンスとラボラトリー体験学習 (1)
2. ラボラトリー体験学習 (2)
3. ラボラトリー体験学習 (3)
4. ラボラトリー体験学習 (4)
5. ラボラトリー体験学習 (5)
6. ラボラトリー体験学習 (6)
7. ラボラトリー体験学習 (7)
8. ラボラトリー体験学習 (8)
9. ラボラトリー体験学習 (9)
10. ラボラトリー体験学習 (10)
11. ラボラトリー体験学習 (11)
12. ラボラトリー体験学習 (12)
13. ラボラトリー体験学習 (13)
14. ラボラトリー体験学習 (14)
15. ラボラトリー体験学習 (15)

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

- ア：PBL（課題解決型学習）
- イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
- ウ：ディスカッション、ディベート
- エ：グループワーク
- オ：プレゼンテーション
- カ：実習、フィールドワーク

**準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

予習：翌週のグループワークの準備、および、その他の課題に取り組み（約1時間）  
復習：その日の授業資料の内容を見直すとともに、授業内活動に対する振り返りシートを執筆する（約1時間）

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

双方向授業の実施：グループ・ディスカッションやその他の活動後にグループワークの結果を発表させ、教員がコメントをする。講義の中で、受講生に適宜意見を求める。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**

このコースは一方向的講義のクラスではないため、受講生の真摯、かつ、積極的な参加を希望する。  
第1回目の授業で履修に関する重要な説明をするので、必ず出席すること。